

平成17年9月28日

調査統計部企業統計室

要 旨

平成17年10-12月期の先行きDI

- ・売上高の現状判断は悪化するも、先行きはやや改善し、すべての地域で2桁台の水準と高い景況感を持続。特に電気機械は、現状判断、先行きも改善の見込み。
- ・設備投資の現状判断は、2桁台の高水準。先行きはすべての地域で悪化を見込む。
- ・従業者数は、北米、欧州及びNIEs3で悪化。

平成17年4-6月期の実績

- ・売上高は、7期連続して前年同期比 2桁台の増加。輸送機械が好調ですべての地域で増加。これまで堅調に推移してきた電気機械は、同 2.8%の低い伸び。特に中国及びASEAN4では伸び悩み、NIEs3では減少。
- ・設備投資は、北米を除きすべての地域で増加。アジアでは、中国が引き続き大幅に増加。欧州は、電気機械、輸送機械を中心に引き続き大幅に増加。
- ・従業者は、アジアが引き続き増加。なかでも中国は堅調に推移。北米は減少。

今回調査のポイント

調査時点：平成17年8月中旬

1. 売上高先行きDI^{*1}は、21.8%ポイントと引き続き高い景況感。

実績は、前年同期比 15.3%増と7期連続 2桁台の増加で、依然として好調を維持。

現状判断DIは、高水準を維持しつつも、北米及び欧州で悪化。先行きDIは、欧州が大幅に改善し、すべての地域で 2桁台の水準で引き続き高い景況感を維持。先行きDIの前期比は、わずかに改善。欧州は大幅に改善。北米はやや改善。アジアはやや悪化。特に中国^{*4}はやや改善するものの、ASEAN4^{*3}及びNIEs3^{*2}で悪化が目立つ。

実績は、すべての地域で引き続き増加。特にアジアは12期連続 2桁台の増加。なかでもASEAN4は好調を維持。中国は、電気機械の増加幅が縮小したことから、11期ぶりに 10%台の増加にとどまった。北米、欧州は輸送機械が好調で引き続き増加。

2. 設備投資先行きDIは、11.0%ポイントで先行き悪化の見込み。実績は、前年同期比 4.3%増と10期連続の増加。

現状判断DIは、前期と横ばいで推移し、プラス水準を維持。先行きDIは、すべての地域で悪化するものの、NIEs3を除くすべての地域で引き続きプラス水準を維持。先行きDIの前期比は、アジアは、電気機械、輸送機械の悪化により悪化の見込み。なかでも中国、ASEAN4は電気機械が大幅に悪化、NIEs3は輸送機械が大幅に悪化。北米、欧州は主力業種の輸送機械及び電気機械がともに悪化の見込み。

実績は、北米を除くすべての地域で増加。アジアは輸送機械を中心に大幅に増加。特に中国は輸送機械等を中心に引き続き大幅に増加。NIEs3は輸送機械の大幅増加により、3期ぶりに増加。欧州は電気機械、輸送機械を中心に大幅に増加。特に東欧圏で輸送機械の設備投資が堅調に推移。北米は、電気機械、輸送機械が大幅に減少。

3. 従業者先行きDIは、4.9%ポイント。北米、NIEs3及び欧州が悪化しマイナス水準。実績は、前年同期比 6.0%増と引き続き増加。

現状判断DIは、すべての地域でプラス水準。先行きDIは、アジアは中国、ASEAN4がプラス水準。北米、NIEs3及び欧州はマイナス水準に転じている。先行きDIの前期比は、すべての地域で悪化。アジアはいずれの地域も悪化。北米は大幅に悪化、欧州も悪化。

実績は、アジアは引き続き増加。特に中国は、電気機械、輸送機械が好調。ASEAN4は、輸送機械が好調。NIEs3は電気機械が減少。北米は電気機械の引き続き減少により減少。欧州は電気機械が減少したものの、輸送機械の増加により増加に転じた。

注) *1：DIの調査期間を平成16年4-6月期調査から3ヶ月に変更（従前6ヶ月の調査期間を、「現状判断」、「先行き」に分割し、それぞれ3ヶ月で調査）

・DI=「増加と回答した企業の割合」 「減少と回答した企業の割合」

・現状判断DIの前期比 = 「平成17年 7-9月DI(現状判断)」 - 「平成17年 4-6月DI(現状判断)」

・先行きDIの前期比 = 「平成17年10-12月DI(先行き)」 - 「平成17年 7-9月DI(現状判断)」

*2 NIEs3：シンガポール、台湾、大韓民国

*3 ASEAN4：インドネシア、タイ、フィリピン、マレーシア

*4 中国：香港を含む。

1. 売上高

- 売上高の現状判断DI（17年7-9月）は悪化となったものの、欧州、北米を除くすべての地域で高水準。先行きDI（17年10-12月）の前期比は、0.5%ポイントとわずかに改善。すべての地域で2桁台の水準で引き続き高い景況感を持続。
- ・現状判断DIは、欧州が低い水準となったものの、すべての地域でプラス水準を維持。
 - ・先行きDIは、やや改善。アジアでやや悪化しているものの、引き続き高い景況感を持続。特に欧州の大幅な改善が目立つ。
- 売上高実績は、前年同期比 15.3%増で7期連続 2桁台の増加と引き続き好調を持続。すべての地域で引き続き増加。アジアは12期連続 2桁台の増加。なかでも中国、NIEs3及びASEAN4の輸送機械は大幅に増加。他方、中国、ASEAN4の電気機械はやや伸び悩み、NIEs3では減少。北米は、輸送機械が引き続き好調で4期連続 2桁台の増加。欧州は、電気機械が伸び悩んだものの、輸送機械の好調により、2期ぶりに2桁台の増加。

（参考）海外経済 世界の景気は着実に回復している。アメリカでは、景気は拡大している。アジアでは、中国では景気は拡大が続いている。台湾、シンガポールでは、景気は拡大している。タイ・マレーシアでは、景気の拡大は緩やかになっている。韓国では景気は緩やかに回復している。ユーロ圏では、景気は緩やかに回復しており、英国の景気は回復している。（月例経済報告（9月）より抜粋）

(1) 売上高現状判断DI(17年7-9月)は、21.3%ポイントと前期現状判断DI(17年4-6月)に比べ、4.7%ポイントと悪化。

先行きDI(17年10-12月)は、21.8%ポイントと今期現状判断DI(17年7-9月)に比べ、同0.5%ポイントとわずかに改善。（1表、1図、2図）

- ・現状判断DIは、ASEAN4を除くすべての地域で悪化。北米及び欧州で大きく悪化したものの、すべての地域でプラス水準。先行きDIも、引き続き高い景況感を持続。特に欧州は20%台の水準まで改善。
- ・先行きDIの前期比は、現状判断DIが高水準で推移したことから、0.5%ポイントのわずかな改善。アジア(前期比 2.0%ポイント)では、中国がやや改善したものの、ASEAN4(同7.0%ポイント)は大きく悪化し、NIEs3もやや悪化。欧州(同19.9%ポイント)は、電気機

械、輸送機械等の改善により、大幅に改善。北米は、輸送機械、電気機械が改善するものの、一般機械の大幅な悪化から、やや改善。

(2) 売上高実績（ドルベース）は、前年同期比 15.3%増と7期連続 2桁台の増加と好調を持続。（1表、1図、3図）

- ・すべての地域で引き続き増加。特にアジアは12期連続 2桁台の増加。なかでもASEAN4は、輸送機械の好調により引き続き大幅に増加。NIEs3も増加した。しかし、中国は11期ぶりに10%台の増加にとどまった。これは、電気機械が、デジタル家電等（特に薄型液晶テレビ・プラズマテレビ）の大幅な価格下落の影響から、前年同期比 9.7%増と1桁台の増加にとどまったことが影響。北米及び欧州は、輸送機械が大幅に増加し、2桁台の増加となった。

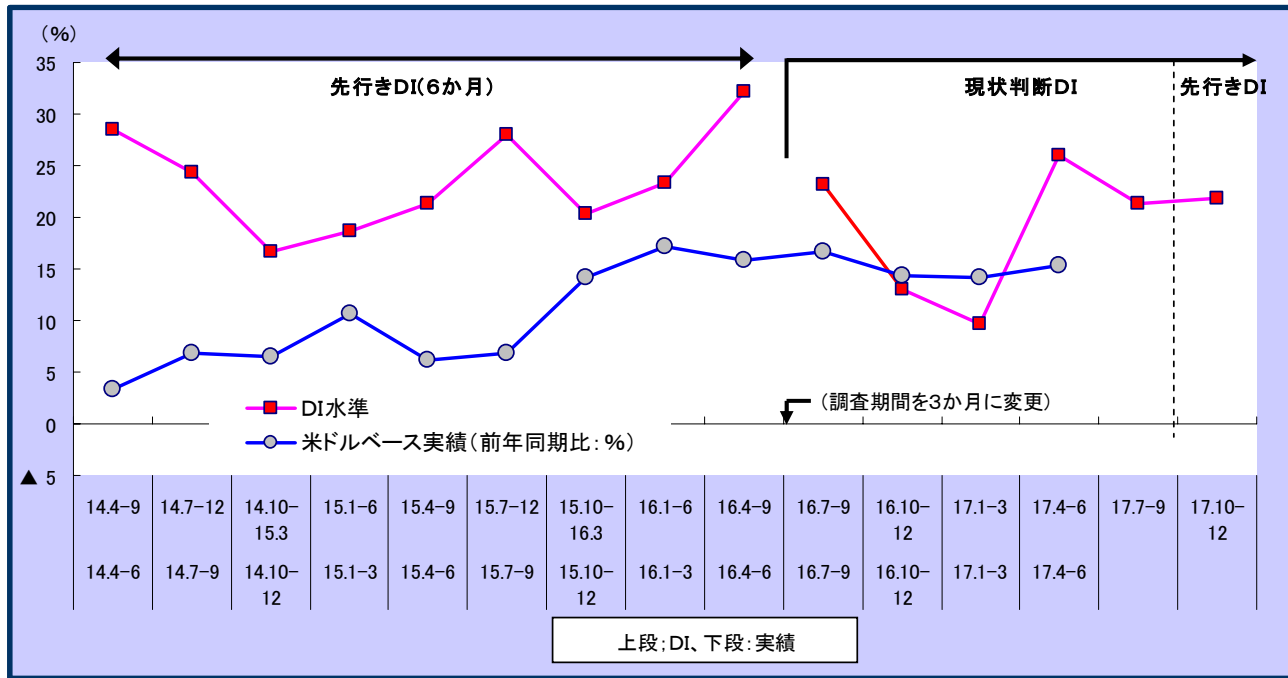
1表 売上高のDI及び実績（地域・主要業種別）

（単位：DI及びDI前期比 %ポイント、実績(前年同期比) %）

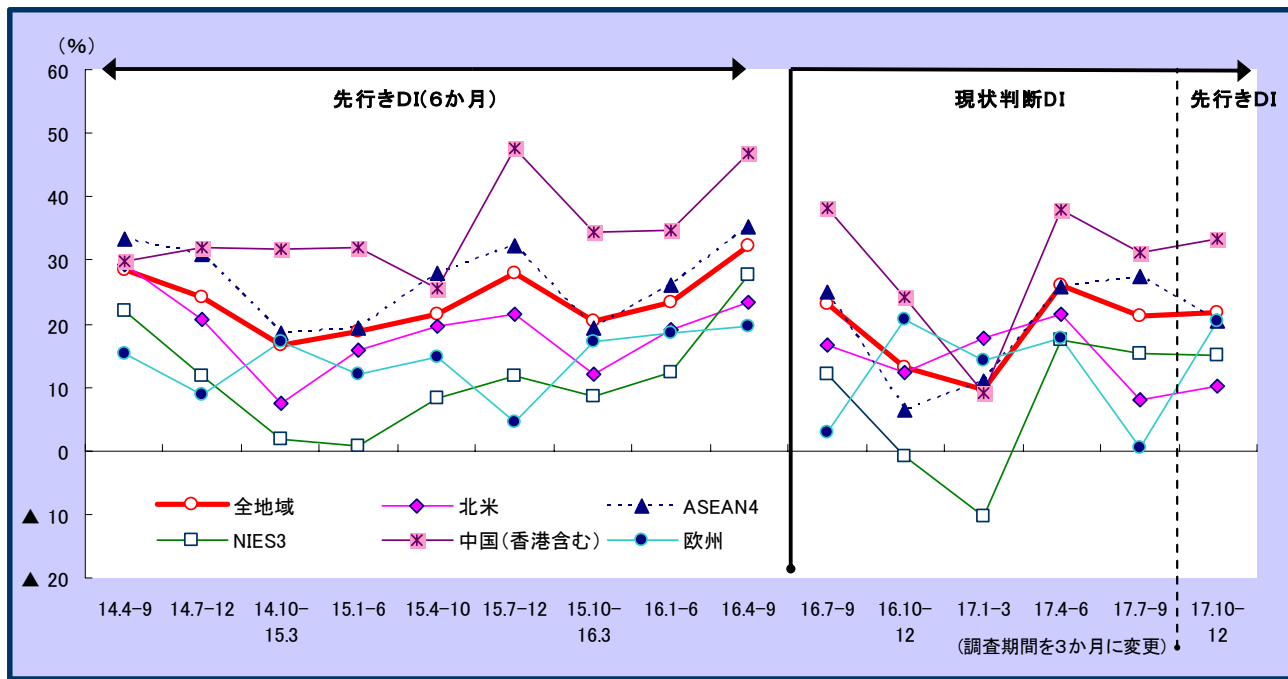
	DI			前期比		実績 (前年同期比)
	前期調査	今 期 調 査		前期比		
	現状判断 (17.4-6)	現状判断 (17.7-9)	先行き (17.10-12)	現状判断 (-)	先行き (-)	
計 (地域・業種)	26.0 →	21.3 →	21.8	(4.7)	0.5	15.3
北米	21.4 →	8.1 →	10.3	(13.3)	2.2	12.3
アジア	29.6 →	27.8 →	25.8	(1.8)	2.0	16.5
ASEAN4	25.8 →	27.5 →	20.5	(1.7)	7.0	20.5
NIEs3	17.4 →	15.4 →	15.0	(2.0)	0.4	9.5
中国 (香港含む)	37.8 →	31.2 →	33.3	(6.6)	2.1	13.7
欧州	17.6 →	0.4 →	20.3	(17.2)	19.9	14.1

	DI			前期比		実績 (前年同期比)
	前期調査	今 期 調 査		前期比		
	現状判断 (17.4-6)	現状判断 (17.7-9)	先行き (17.10-12)	現状判断 (-)	先行き (-)	
輸送機械	28.2 →	21.3 →	24.9	(6.9)	3.6	28.3
電気機械	18.5 →	19.0 →	23.2	(0.5)	4.2	2.8
一般機械	26.4 →	26.3 →	30.9	(0.1)	4.6	16.2
化学	33.0 →	25.8 →	26.4	(7.2)	0.6	13.8
鉄鋼	41.2 →	0.0 →	6.0	(41.2)	6.0	6.6

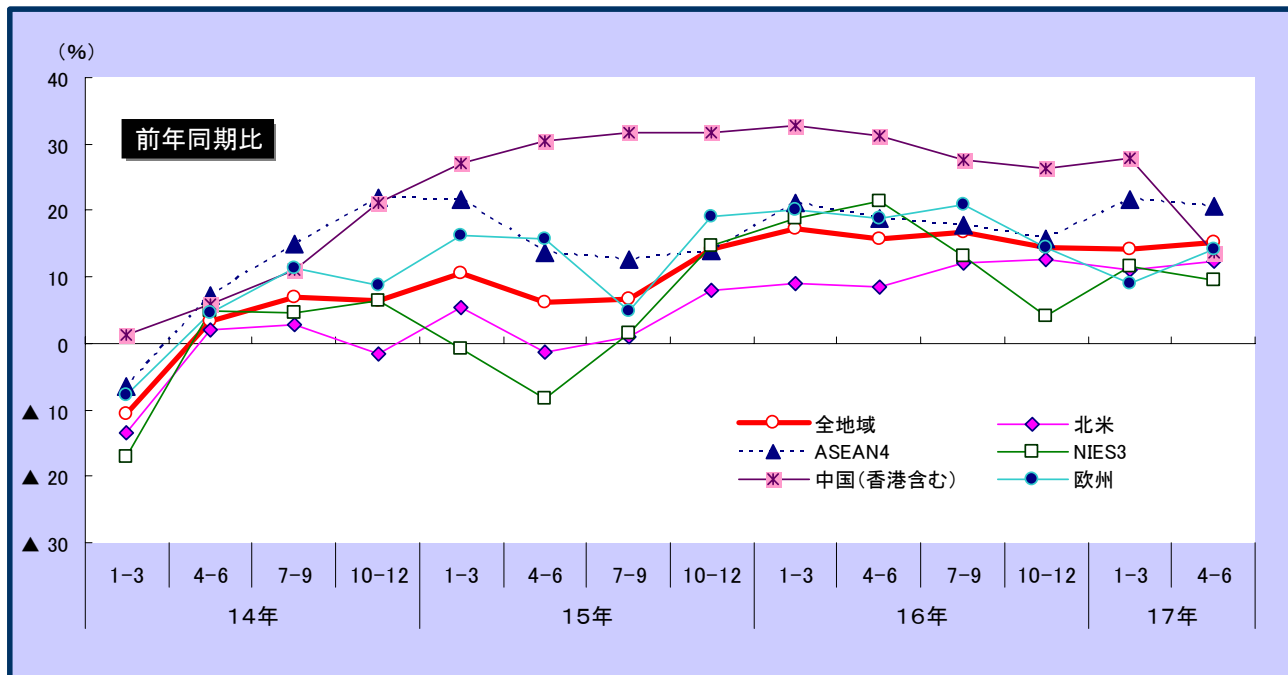
1図 売上高のDIと実績（ドルベース）の推移（全地域）



2図 売上高DIの推移（地域別）



3図 売上高実績（ドルベース）の推移（地域別）



2. 設備投資額（土地を除く固定資産取得額）

- 設備投資額の現状判断DI（17年7-9月）は、すべての地域で2桁台の水準を維持。先行きDI（17年10-12月）は、すべての地域で悪化を見込む。なかでもNIEs3はマイナス水準。
- ・現状判断DI（17年7-9月）は、すべて地域で2桁台のプラス水準。
 - ・先行きDIは、すべての地域で悪化。NIEs3は輸送機械及び電気機械が大きく悪化を見込み、マイナス水準に転じた。北米は1桁台の水準に悪化。
- 設備投資額の実績は、前年同期比4.3%増で10期連続の増加。
- 北米を除くすべての地域で増加。アジアは引き続き大幅な増加。欧州は4期連続して大幅な増加。特に東欧圏での輸送機械関連での設備投資が堅調。北米は、電気機械及び輸送機械の減少により、大幅な減少に転じている。アジアでは、中国及びASEAN4の輸送機械が引き続き好調。NIEs3は電気機械が減少したものの、輸送機械の大幅増加により、3期ぶりの増加。

- (1) 設備投資額の現状判断DI(17年7-9月)は、15.9%ポイントと前期現状判断DI(17年4-6月)に比べ、0.0%ポイントと横ばい。すべての地域で2桁台の水準を維持。
- 先行きDI(17年10-12月)は、11.0%ポイントとNIEs3を除くすべての地域で引き続きプラス水準(北米を除き2桁台の水準を維持)。(2表、4図)
- ・先行きDIの前期比は、4.9%ポイントと悪化。すべての地域で悪化した。アジア(前期比4.8%ポイント)では、NIEs3(同11.3%ポイント)が大幅に悪化、中国及びASEAN4も悪化。特にNIEs3は、輸送機械(同32.0%ポイント)、電気機械(同14.4%ポイント)の大幅な悪化が目立つ。北米及び欧州は、輸送機械、電気機械が悪化の見込み。
- (2) 設備投資額の実績（ドルベース）は、前年同期比4.3%増と10期連続の増加。(2表、5図)
- ・北米を除くすべての地域で増加した。アジアでは、中国が引き続き大幅に増加。ASEAN4は、増加幅がやや縮小したものの、2桁台の増加となった。NIEs3は、輸送機械の大幅増加により、3期ぶりに増加に転じた。欧州は、電気機械及び輸送機械を中心に4期連続して大幅な増加。特に東欧圏で輸送機械の設備投資が引き続き堅調。他方、北米は、前年同期比34.6%減と大きく減少した。特に電気機械(同70.5%)及び輸送機械(同31.8%)が大きく減少。

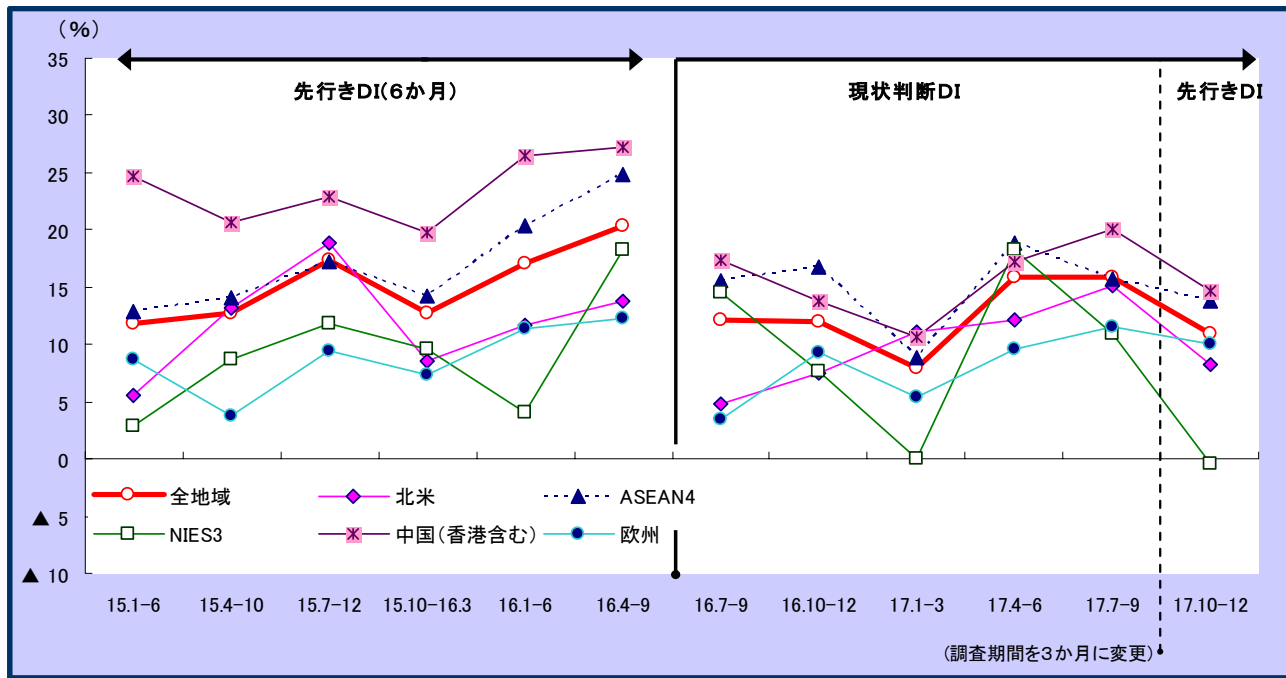
2表 設備投資額のDI及び実績（地域・主要業種別）

（単位：DI及びDI前期比 %ポイント、実績(前年同期比) %）

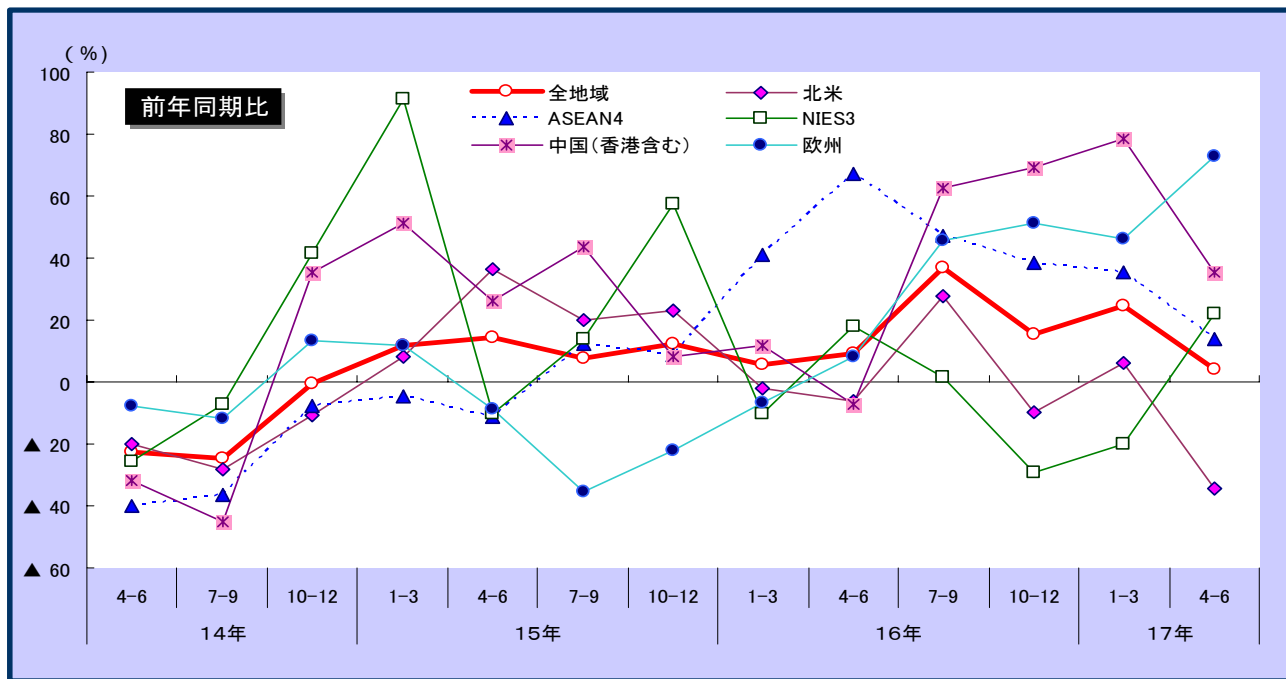
	DI			前期比		実績 (前年同期比)
	前期調査	今 期 調 査				
	現状判断 (17.4-6)	現状判断 (17.7-9)	先行き (17.10-12)	現状判断 (-)	先行き (-)	
計 (地域・業種)	15.9 →	15.9 →	11.0	(0.0)	4.9	4.3
北米	12.1 →	15.1 →	8.3	(3.0)	6.8	34.6
アジア	18.1 →	16.8 →	12.0	(1.3)	4.8	20.6
ASEAN4	18.8 →	15.7 →	13.8	(3.1)	1.9	13.8
NIEs3	18.2 →	10.9 →	0.4	(7.3)	11.3	22.3
中国 (香港含む)	17.2 →	20.0 →	14.7	(2.8)	5.3	35.4
欧州	9.6 →	11.6 →	10.1	(2.0)	1.5	72.6

	DI			前期比		実績 (前年同期比)
	前期調査	今 期 調 査				
	現状判断 (17.4-6)	現状判断 (17.7-9)	先行き (17.10-12)	現状判断 (-)	先行き (-)	
輸送機械	19.3 →	22.5 →	13.4	(3.2)	9.1	0.6
電気機械	9.8 →	13.6 →	4.5	(3.8)	9.1	9.1
一般機械	16.1 →	9.0 →	12.7	(7.1)	3.7	58.8
化学	16.2 →	13.9 →	12.9	(2.3)	1.0	28.4
鉄鋼	20.5 →	6.6 →	19.7	(13.9)	13.1	66.5

4図 設備投資額DIの推移 (地域別)



5図 設備投資額実績(ドルベース)の推移(地域別)



3. 雇用

- 従業者数先行きDI（17年10-12月）は、4.9%ポイント。
中国及びASEAN4はプラス水準。北米、NIEs3及び欧州は悪化を見込み、マイナス水準。
- ・ 現状判断DI（17年7-9月）は、すべての地域でプラス水準。
 - ・ 先行きDIの前期比は、すべての地域で悪化を見込む。
北米は輸送機械が大幅に悪化。欧州は電気機械が悪化。
アジアでは、ASEAN4が大きく悪化。
- 従業者数（平成17年3月末）は、前年同期比 6.0%増で引き続き増加。
アジアでは引き続き増加。特に中国は、前年同期比 11.0%の増加。ASEAN4も、同 5.0%の増加。NIEs3は同 0.3%とわずかに減少。欧州は同 4.1%の増加。北米は、同 1.5%とやや減少。

(1) 従業者数現状判断DI(17年7-9月)は、9.7%ポイントと前期現状判断DI(17年4-6月)に比べ、1.3%ポイントとわずかに悪化。

先行きDI(17年10-12月)は、4.9%ポイントと今期現状判断DI(17年7-9月)に比べ 4.8%ポイントの悪化。（3表）

- ・ 先行きDIは、4.9%ポイントで、アジアは1桁台のプラス水準。前期比は、すべての地域で悪化。特に北米は現状判断が悪化し、さらに先行きも大幅に悪化の見込み。欧州、ASEAN4も現状判断、さらに先行きも悪化の見込み。

(2) 従業者数（平成17年6月末）は 265万人、前年同期比 6.0%増と引き続き増加した。

（3表）

- ・ アジアでは引き続き増加となった。特に中国は、輸送機械及び電気機械が 2桁台の増加となり、前年同期比 11.0%の増加となった。ASEAN4も同 5.0%の増加。NIEs3は、電気機械の減少により、同 0.3%とわずかに減少した。欧州は、輸送機械が2期ぶりに 2桁台の増加により、同 4.1%の増加となった。他方、北米は、電気機械が 14期連続の減少から、同 1.5%とわずかな減少となった。

3表 従業者数のDI及び実績（地域・主要業種別）

（単位：DI及びDI前期比 %ポイント、実績(前年同期比) %）

	DI			前期比		実績 (前年同期比)
	前期調査	今 期 調 査		前期比		
	現状判断 (17.4-6)	現状判断 (17.7-9)	先行き (17.10-12)	現状判断 (-)	先行き (-)	
計 (地域・業種)	11.0 →	9.7 →	4.9	(1.3)	4.8	6.0
北米	10.4 →	7.2 →	0.7	(3.2)	7.9	1.5
アジア	12.1 →	12.3 →	8.0	(0.2)	4.3	7.6
ASEAN4	13.3 →	12.8 →	6.5	(0.5)	6.3	5.0
NIEs3	0.4 →	0.8 →	2.3	(1.2)	3.1	0.3
中国 (香港含む)	15.2 →	15.3 →	12.9	(0.1)	2.4	11.0
欧州	5.7 →	0.7 →	1.9	(5.0)	2.6	4.1

	DI			前期比		実績 (前年同期比)
	前期調査	今 期 調 査		前期比		
	現状判断 (17.4-6)	現状判断 (17.7-9)	先行き (17.10-12)	現状判断 (-)	先行き (-)	
輸送機械	16.4 →	16.3 →	12.3	(0.1)	4.0	14.4
電気機械	8.5 →	7.5 →	2.9	(1.0)	4.6	2.6
一般機械	16.1 →	14.1 →	6.6	(2.0)	7.5	9.1
化学	8.8 →	8.4 →	5.5	(0.4)	2.9	3.7
鉄鋼	14.8 →	1.4 →	3.0	(13.4)	1.6	1.3